

バングラデシュからの便り

アースキャラバンでは、South Rakhine Para Chowfaldondi Union 村にある、Rakhine children 小学校をサポートしています。ラカイン族のラジョさんから、毎月子どもたちの様子が送られてきます。

2022年度は、新しい先生が就任し、5歳から11歳の子どもたち13名が学んでいます。朝は7時からスタートし、午前中で終了します。バンガリー語、英語、算数、バングラデシュと世界のアイデンティティ、一般科学、一般知識などを学んでいます。子どもたちはみんな学ぶことが大好きだそうです。



毎月新しいノートや文房具が支給されます。(左)
ダンスの練習(右)

新しい支援先のお知らせ

アースキャラバンでは、インド(ブッダガヤ、カルカッタ)の低カースト層の学校支援、レバノンのパレスチナ難民生活支援を開始しました。

Gyan jyoty rural development welfare Trust インド・ブッダガヤ (左)



Basha School インド・カルカッタ(右)



National Institution of Social Care & Vocational Training (NISCVT) レバノンのパレスチナ難民キャンプの子どもたち(中央)



会計報告

2022年3月1日～2023年2月28日

収支報告

◆事業収入 収入内訳

アースキャラバン会費収入	1,065,500円
活動への支援金	583,564円
利息	102円
収入総額	1,649,166円

◆事業支出 収入内訳

国内外支援金	923,810円
アースキャラバン活動費	1,192,511円
支出総額	2,116,321円

支援報告

バングラデシュ教育支援金	400,000円
レバノン難民生活支援金	41,810円
トルコカフマンマラシャ地震災害義援金	300,000円
チベット難民支援	10,400円
インド 低カースト層子どもの学校支援他	28,000円
尼崎 宗教法人 旅路の里	50,000円
支援総額	923,810円

団体概要

名称	特定非営利活動法人 アースキャラバン
設立	平成18年4月26日
事務所	京都市東山区古物前通大和路東入元町367番地2
代表者	理事長 野本祐子(設立時理事長 遠藤暁及)
目的等	人種、国籍、宗教、信条を問わず全ての人々に対して、 氣と心のワークショップの開講、全体の施術、地域通貨の運営、 芸術活動、海外援助活動に関する事業を行い、世界中の明るく豊かな未来に寄与することを目的とす

- 事業内容
- ① 氣と心のワークショップの開講
 - ② チャリティ全体の施術
 - ③ チャリティイベントの企画及び運営
 - ④ 平和、国際協力に関する啓発活動
 - ⑤ 途上国の子供たちの教育支援並びに里親支援
 - ⑥ 国内・海外支援活動
 - ⑦ 地域通貨の運営
 - ⑧ その他、目的を達成するための事業

編集後記

残念ながら、2022年度に入ってパレスチナのガザで行っている「浄水プロジェクト」の方とコンタクトが取れなくなっていました。何かあったのではないかととても心配していたところ、2023年10月、イスラエル軍によるガザ地区への侵攻が始まってしまいました。なんとかコンタクトを取り続け、幸いにも生存を確認することができました。一瞬先がどうなっているのかわからない状況が続き、住民たちは極限の状態です。

アースキャラバンでは、兼ねてから続けている、ガザの写真家による写真展の開催などで、これからも現地の様子をお伝えしていきます。皆さんの場所でもぜひ写真展の開催をご検討ください。

新しくレバノンにあるパレスチナ難民キャンプの子どもたちの学校支援も始まりましたこともこの場でお知らせいたします。

2022年に入り、世界情勢が変わって、再び海外へ自由に行けるようになりました。たくさんのご縁のつながりから、2022年末に日本を出国し「インド希望の火巡礼」を行うことができました。オーストリア、アメリカ、イスラエルからの海外メンバーと合流し、平和への祈りを多くの人々と共有しながら、気づけば、希望の火には世界中の15もの大切な火が合祀されていました。

子どもたちが笑顔と希望を持って生きていける世界になることを切に願ひ今後も活動を続けていきます。みなさまからのあたたかいご支援に、スタッフ一同心より感謝いたします。

引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

